

製品名: ベクリン 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21322

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:52kD;Observed MW:60kD

抗原情報

遺伝子名	BECN1
別名	Beclin-1 (Coiled-coil myosin-like BCL2-interacting protein) (Protein GT197)
遺伝子 ID	8678.0
SwissProt ID	Q14457
免疫原	ヒトベクリン 1 の組み換えタンパク質

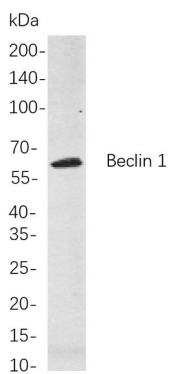
背景

細胞局在: 細胞質。 beclin 1(BECN1) ホモ・サピエンス この遺伝子は、飢餓によって誘導される分解過程であるオートファジーを制

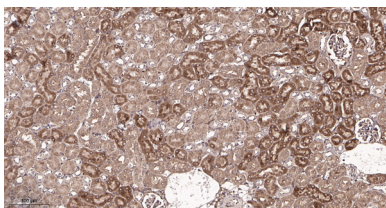
御するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、小胞輸送過程を媒介するホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ(PI3K)複合体の構成要素です。このタンパク質は、腫瘍形成、神経変性、アポトーシスなど、複数の細胞プロセスにおいて役割を果たすと考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年9月]

研究分野

画像データ



Hela 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (Beclin 1 Rabbit mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。1、Beclin 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。